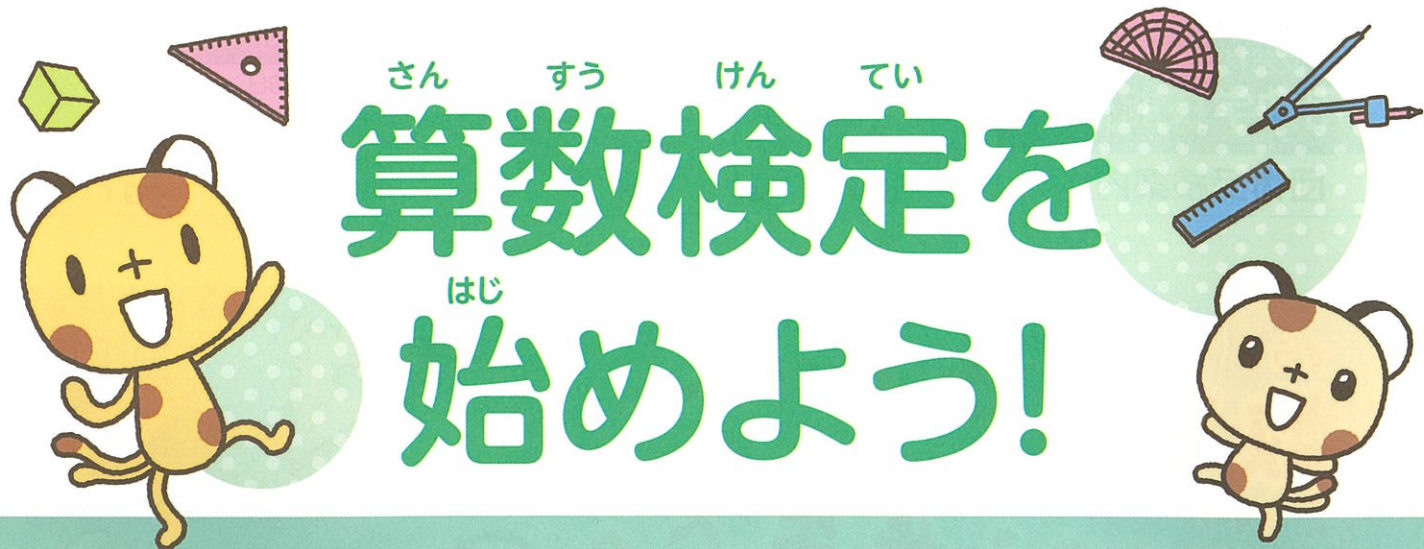




算数検定(実用数学技能検定)とは

「実用数学技能検定」(後援:文部科学省)は、数学・算数の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る記述式の検定で、公益財団法人日本数学検定協会が実施している全国レベルの実力・絶対評価システムです。おもに、数学領域である1級から5級までを「数学検定」と呼び、算数領域である6級から11級、かず・かたち検定までを「算数検定」と呼びます。

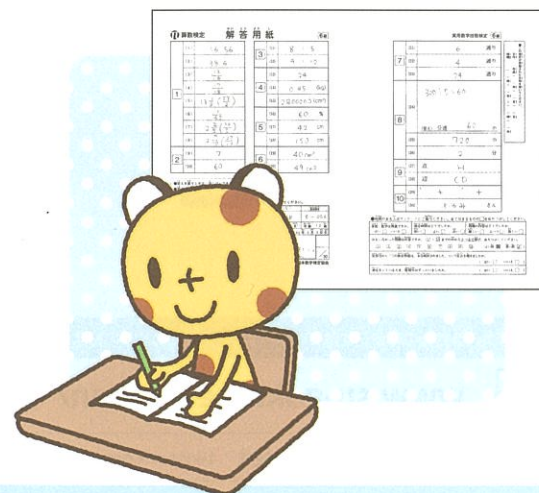
実用数学技能検定													
数学検定							算数検定						
1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	かず・かたち検定
大学・一般	高校3年	高校2年	高校1年	中学校3年	中学校2年	中学校1年	小学校6年	小学校5年	小学校4年	小学校3年	小学校2年	小学校1年	幼児

※くわしくは裏表紙をご覧ください。

算数検定の特長とメリット

1 「記述式」だから3つの力が身につく

➡ 算数検定は、問題の答えや解き方をすべて解答用紙に書く「**記述式**」の検定です。



だから

将来の大学入試や就職試験、仕事で求められる**3つの力**が身につきます。2020年から大学入試でも**記述式**の問題が出題されます。



Q

算数を学習することは、将来役立ちますか？

A

これからの社会で求められる「**自分で考えて判断し、表現する力**」は算数・数学の学習をとおして養われます。小学生のうちから、**算数の基礎基本**をしっかりと身につけることが将来につながります。



2 スモールステップで基礎基本が着実に身につく

➡ 算数検定はそれぞれの学習段階に応じた階級を受検することができます。

だから **一歩一歩着実にステップアップ!**



3 学習習慣が身につく

➡ 算数が楽しくなる学習サイクルをくり返すことで、無理なく**学習習慣**が身につきます。



新 個別成績票を活用しよう!

受検者には、検定結果の通知として、個別成績票を発行しています。全体の可否だけでなく、1問ずつ正誤がわかるので、受検後の復習に役立ちます。自分の得意なところ・苦手なところや、単元ごとの達成度もわかりやすくなっています。

